

キャンパス メンバーズ 制度 利用 している？

キャンパス メンバーズ制度って何？

奈良国立博物館・京都国立博物館・京都国立近代美術館・国立国際美術館の4館で、

本学学生が学生証を提示することによりさまざまな特典を受けることができる制度です。

どんな特典を受けられるの？

各施設の平常展(常設展)が無料。特別展の割引(奈良国立博物館:一律400円、その他施設:団体[学生]料金)。各施設の研究紀要、展覧会図録、その他印刷物の閲覧・貸出(本学図書館及び学生支援課にて)。

※この便利でお得なキャンパスメンバーズ制度を利用して、どんどん歴史や美術に親しみましょう!10月23日からは、奈良国立博物館において、大人気の第62回正倉院展が開催されています(11月11日まで)。この機会にぜひご利用ください。なお奈良国立博物館では、ポイントカードを発行しており、スタンプを集めるとオリジナルグッズがもらえます。(ポイントカードは学生支援課前で配布中!)

今年の4月3日から6月20日まで奈良国立博物館で開催されていた「大遣唐使展」を見学された2回生の方の初等教科教育法(社会)レポート原稿が、担当の田淵五十生教授より提供されました。非常に素晴らしい内容となっておりますので、ぜひ参考にいただき、今後の博物館・美術館の利用にお役立てください。



私は去年のちょうど今と同じ時期に、奈良国立博物館で開催されていた「鑑真和上展」を見に行きました。そこで初めて鑑真和上坐像を見たとき、鳥肌が立つくらい感動したことを思い出しました。その鑑真和上坐像からは、何度も航海に失敗し、さまざまな危険に遭遇しても、仏教伝来のために来日を目指した鑑真の強い意志が感じられました。今回開催された「大遣唐使展」では、鑑真のように海を渡って日本にさまざまな文化をもたらす役割を果たした渡来人・遣唐使らの活躍を感じることができ、日本と世界の交流の原点に触れることができました。私が子どもにぜひ見てもらいたいの

ののまず一つ目は、「観音菩薩立像」である。観音菩薩立像は唐の時代の石仏を代表する名作であり、706年に制作された。薬師寺所蔵の聖観音菩薩立像の様式の源流として認められ、聖観音菩薩立像との比較がなされていた。像の大きさは約2mであり、堂々とした立ち姿に圧倒される。なぜ私が「観音菩薩立像」を子どもたちに見せたいかという、「観音菩薩立像」は日本の仏像の様式の原点として認められたものであるからだ。このように、唐の文化が日本で開花したことが示される名作を、間近に見ることができるのはとても光栄なことであると思う。また、聖観音菩薩立像

大遣唐使展へ行つて



と並んで展示されていることから、それらの比較を自分の目で行うことができた。どちらの観音像もとても迫力があり美しく、感動した。また、今回日本で初公開ということも魅力的に感じた。

2つ目は、「吉備大臣入唐絵巻」だ。これは、吉備大臣の唐における活躍が描かれた平安絵巻の傑作として知られており、1932年にアメリカに渡り、幻の国宝とも称される。今回の

「大遣唐使展」で公開されたのは、この絵巻の1巻と4巻である。博物館では電子板を利用して、公開されていない絵巻を含んだ全巻の解説がされており、とても面白かった。これを選んだ理由は、絵巻のおもしろさに惹かれたからというのが一番の理由である。細やかな絵や、鮮やかな色などに目



を奪われた。家に帰って吉備真備について調べてみると、我が大学の構内に吉備真備の墓と伝えられる「吉備塚」があるということがわかった。今まで知らなかったことを恥ずかしく思った。今回大遣唐使展を見に行く前に授業を受けて、「どうして遣唐使はさまざまな困難の中、大陸に送られたのか」という疑問がうまれた。この疑問は大遣唐使展を見に行くことで、自分の中では納得できた。日本の文化は大陸文化に大きく影響され、開花した。その原点を築いたのは遣唐使であり、彼らの果たした役割はとても大きい。何百年以上も前にこの奈良の地でそのような政策がされていたと思うと感動した。

木野下みどり
(教育・発達基礎コース 2回生)

